

## 令和5年度瀬戸内海国立公園子どもパークレンジャー事業（広島地区）

テーマ：野呂山のやっかいものをさがせ！イノシシ×生き物大調査

実施日時：2023年9月16日（土）9：00－18日（月・祝）14：30

場所：広島県呉市川尻町 <sup>のろきん</sup>野呂山

講師：野生生物に詳しい 菊間 馨 さん（広島県自然体験活動アドバイザー）

野呂山のイノシシに詳しい猟師

木村 勝美さん、岡田 芳幸さん（広島県猟友会呉地区支部）

参加者：小学4～6年生19名

内容： 国立公園の管理をする自然保護官のことを「レンジャー」といいます。子どもたちが「子どもパークレンジャー」（以下、JPR）となって、野呂山の外来生物やイノシシの調査をし、「やっかいものの真実」を伝える事業を開催しました。

1日目はオリエンテーションを行った後、昆虫や水辺の生き物を、日が沈んでからは夜の鳴く虫を探しました。

2日目の午前は班ごとに別れ、イノシシの素性調査をしました。午後は猟師さん指導の下、イノシシの解体体験をし、解体した肉はBBQにいただきました。夜は暗闇を味わったり、レンジャーから話を聞いたりしました。

最終日は、野呂山で出会ったやっかいものは本当にやっかいものなのか、何が問題なのか、自分たちに何ができるのかを考え、「やっかいものの声」を模造紙にまとめ、保護者の皆さんに向けて、「やっかいものの真実」発表会を開催しました。

### 【実施風景】



### 【1日目】

野呂山 <sup>ふもと</sup>麓 駐車場に集合。

今回のテーマはずばり“やっかいもの”  
麓の畑には、イノシシ除けの獣害柵はもちろん、カラス除け、モグラ除けなど  
様々なやっかいもの除けがありました。



### 本物のイノシシと対面！

野呂山ではイノシシの被害があるため、  
猟師さんにより罠<sup>わな</sup>が仕掛けられています。その1日目朝、なんと70kgの大きなイノシシが罠に…！興奮していたため、少し離れた所からそっと見学させてもらいました。



### 任命式

野呂山ビジターセンター到着後、任命式を行いました。

山脇レンジャーより任命書とJPRバッジを手渡しました。JPRとして、3日間野呂山の生き物調査をし、やっかいものの真実を伝えてくださいね！



### オリエンテーション

3日間のミッションや過ごし方、国立公園やレンジャーのお仕事について、JPRとして必要なことをインプット。



### 陸の生き物探し

班ごとに虫取り網を持って、どんな生き物がすんでいるか調べます。氷池の周辺ではバッタ類がたくさん見つかりました。





### ザリガニ釣りとお水の生き物調査

池の水がポンプアップされており…お水の生き物調査は難航したのですが、メダカやトノサマガエル、スジエビなどが見つかりました。



### お水の生き物

左上：ウシガエル（特定外来生物）

左下：アメリカザリガニ

（条件付特定外来生物）

右上：ヒゴイ（飼育品種）

右下：クサガメ（外来種）



### 池の中を再現してみよう！

池の中で何が起きているか観察するため、捕まえた生き物を飼育ケースに入れました。



### アメリカザリガニ捕食

入れるやいなや、アメリカザリガニがメダカを捕まえ、食べ始めました。





アメリカザリガニはやっかいもの？  
外来種とは何か、どうやって日本にきたのか、どんな問題が起きているのかをレクチャーし、人の手で勝手に連れてこられて生きているザリガニはやっかいものなのか？外来種と在来種はどちらの命が大切なのか？について皆で考えました。



### 【2日目】班別イノシシ大調査

イノシシの歴史調査班、<sup>こんせき</sup>痕跡探し班、麓の農家調査班、罨やジビエ調査班に分かれ、イノシシの素性調査！

麓の農家さんにはいつから被害があるのか、どんな被害があるのか、どんな対策をしているかなどをインタビューし、近年ではお米が作付けした10-20%しか収穫できず農業をやめた経緯などを伺いました。



### イノシシの骨を発見！

痕跡探し班は子どものイノシシの骨や掘り返し、ぬた場、ウサギのフンなどを発見。イノシシの骨に外傷が無いことからエサが無くて死んだ？病気で死んだ？など推測もしました。



### 調査結果を発表

それぞれの班で分かったことを発表しシェア。班に分かれ異なったテーマで調べたことで、色々な視点からイノシシについて詳しく知ることができました。





### イノシシ解体体験（皮はぎ）

午後からは猟師さん指導の下、いよいよイノシシの解体です。まずは皮はぎ。皮と肉の間にそっとナイフを滑らせてはいていきます。みんな真剣！



### イノシシ解体体験（肉そぎ）

皮をはいだ後は骨と肉をばらし、解体していきます。身体の構造が分かっていると肉そぎができるので難易度高めですが、猟師さんに関節にナイフを入れると骨を外すことができることなどを教えてもらい、身体の構造についても発見がたくさんありました。



### 骨から何が分かる？

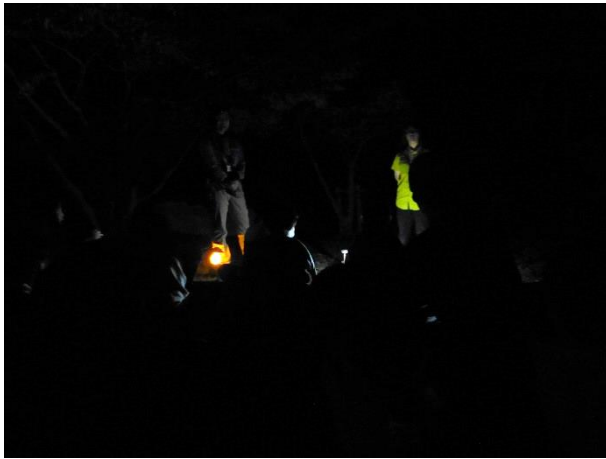
2班が解体をしている裏では、骨や毛の標本からイノシシやシカの生態について菊間さんからレクチャー。歯の本数や形から食べるものが分かることや、シカは胃袋にいる微生物によって栄養を吸収できていることなどを学びました。



### イノシシ肉実食☆

自分たちで解体したお肉はその場でBBQにさせていただきました。特に肋骨あばらほねのスペアリブが大人気であっという間に無くなりました。また、ザリガニやスジエビもいただきました。





### 夜の自然さんぽ

夜は満点の星空の下、それぞれ原っぱに座って過ごす時間を作りました。流れ星が見えた人、虫の音がきれいだと思った人、少し怖かった人など普段体験できない夜の時間を過ごしました。

そして、内山レンジャーからレンジャーになったきっかけややりがいについて教えてもらいました。



### 【3日目】発表準備

班ごとに野呂山で見つけたやっかいもの（イノシシ・ウシガエル・ザリガニ・クサガメ）の声、経緯、問題点、My 行動宣言を1枚の紙にまとめ、大きな声で発表できるようにリハーサルをしました。



### 「やっかいものの真実」発表会

保護者の皆さんと一緒に、皆で2日間の活動をスライドショーでふりかえり、自分たちが調べて考えた「やっかいものの真実」を発表しました。

また、今回は特別にダニや外来種の専門家・国立感染研究所の五箇公一さんよりJPRに向けてビデオメッセージをいただき上映しました。



### JPR 無事終了！

外来種や有害鳥獣という難しいテーマでしたが、しっかり取り組んでくれました。ここで得た学びや気づきを忘れず、これからも身近な環境問題に取り組んでもらえたらと思います。

3日間、お疲れさまでした！

※ ウシガエルなどの**特定外来生物**は生きたままの移動や飼育、放流、譲渡、売買等できません。捕まえた場合は、被害を拡大しないよう、その場でリリースするか適切に処分してください。

また、アメリカザリガニやミシシッピアカミミガメ（ミドリガメ）などの**条件付特定外来生物**は輸入や売買はできませんが、飼育は可能です。捕まえた場合は、その場でリリースするか、逃げ出さないようふたのある飼育ケースや室内で最後まで責任を持って飼育するか適切に処分し、絶対に他の場所へ放流しないでください。

これらの特定外来生物や在来種・外来種に関わらず、影響の分からない動植物をみだりに他の地域に放さないようご理解、ご協力をお願いします。

外来生物について詳しく知りたい方は下記 URL をご覧ください。

[生態系被害防止外来種ピックアップ | 日本の外来種対策 | 外来生物法 \(env. go. jp\)](#)

[2023年6月1日よりアカミミガメ・アメリカザリガニの規制が始まりました！ | 日本の外来種対策 | 外来生物法 \(env. go. jp\)](#)